

とちぎ 2010 県政のあゆみ

2011年 春号別冊

2011年3月31日発行
編集・発行：栃木県広報協会
県のホームページ
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/>





1月
ドクターヘリが運航開始
大切な命を守るために！

1月20日、獨協医科大学病院で「栃木県ドクターヘリ運航開始式」が行われ、同病院を基地病院として運航が始まりました。ドクターヘリは救急専用のヘリコプターで、同病院の救命救急センターに常駐し、消防機関からの要請で医師や看護師を乗せて救急現場に出動し、救命医療を行います。20分ではほぼ県内全域に到着できることから、速やかな治療開始と医療機関への搬送が可能となります。運航開始から12月末までに300件を超える出動を行っており、救急患者の救命や後遺症の軽減に大きく貢献しています。

1月
栃木の交通マナー元年に
高齢者に優しい3S運動を展開



「高齢者に優しい3S運動」展開中

県警察は、「SEE」(見る)、「STOP」(止まる)の3つのSを基本とした栃木の運転マナーを確立するため、「高齢者に優しい3S運動」を1月にスタートしました。「ハンドルを握ったら、スピードを抑えて、良く見て運転する」そんな意識が行き渡ること、多くの県民を重大事故の悲劇から救うことができ、3S運動の拡大と県民の皆さんへの浸透を図るため、栃木の交通マナー元年と位置付け粘り強く継続していきます。

1月
改革の現状と課題を討論
地方分権・地方自治フォーラム

「地域主権の確立」に向けた地方分権改革のゆくえをテーマに「地方分権・地方自治フォーラム」が1月21日、那須烏山市烏山公民館で行われました。フォーラムには県民約200人が参加し、須藤副知事が地方分権改革の現状と課題について説明するとともに、中村宇都宮大学国際学部教授が「地域から地方分権を考える」と題して地方分権改革の意義や地域社会を支える地方自治体の行政実務の重要性などについて基調講演を行いました。



2月 8か月で891万枚削減
県のレジ袋削減の取組

県は、地球温暖化対策の一環として、レジ袋削減に向け、2月から事業者、消費者団体、行政の協定による「レジ袋無料配布中止」の取組を開始しました。11年1月現在、34事業者69店舗がレジ袋の無料配布を中止しており、県民の皆さんの協力のもと、身近にできるエコ活動に取り組んでいます。スタートしてから9月までの8か月間で、レジ袋は約891万枚、CO₂排出量換算では約413トンの削減効果がありました。この取組が県民総ぐるみの運動につながるよう、県は、事業者や県民の皆さんに取組への協力を呼びかけていきます。



2月 益子町で花の祭典
とちぎ花フェスタ2010

「つららかに陶の里から花便り」をテーマに益子町総合体育館と益子町民会館で「とちぎ花フェスタ2010 in ましこ」が2月5日から7日まで開催されました。花フェスタは、とちぎの花の生産振興と普及を目的とした花の祭典で、今回が12回目。当日は、県内生産者が育てた約200種、2万5000本の花が会場にあふれ、フラワーアレンジや寄せ植えなどの体験教室、フラワーオークションなどの楽しい催しも開催され、3日間で2万5000人が来場し、とちぎの花の魅力を体験しました。



2月 「宮岡橋」が開通
一般県道雀宮真岡線

一般県道雀宮真岡線「宮岡橋」延長556・5mが2月7日に供用開始しました。鬼怒川に架かる旧宮岡橋は、幅員が5.5mと狭く、歩道も未整備であったことから、安全で円滑な通行に支障をきたしていました。このため、02年度から、下流部に新しく車道橋の整備を進めるとともに、旧橋は自転車歩行者道として利用することになりました。今回の供用により、通勤通学時などにおける安全・安心で円滑な通行が確保され、鬼怒川を挟んだ地域間の交流連携にも貢献するものと期待されます。



3月 子どもを犯罪から守ろう
公園などに防犯カメラを設置

県警察は、登下校する小学生の見守り活動を実施しているボランティア団体の活動を支援するため、3月1日、小山市立旭小学校区内の通学路、公園などに防犯カメラ25台のシステムを設置し運用を開始しました。国の「子どもを犯罪から守るための環境づくり支援モデル事業」の一環として整備したもので、地元の防犯ボランティア4団体、学区内の8自治会、小学校PTAと学校が参画する「旭小学校校区安全なまちづくり推進協議会」が運用・管理に当たっています。



旭小学校校区安全なまちづくり推進協議会による児童見守り活動



4月
リンク栃木ブレックスが日本一
シンボルロードで優勝パレード

プロバスケットボールチーム「リンク栃木ブレックス」が、日本バスケットボールリーグ（JBL）プレーオフファイナルにおいて3連勝で、見事日本一の栄光に輝きました。本県プロスポーツチームとしては初めての優勝であり、またチーム発足3年目、JBL参戦2年目での快挙でした。4月17日に実施された優勝パレードには県庁舎の壁面にも「Link」の「V」の文字が現れ、県内外から集まった1万人ものファンがシンボルロードを埋め尽くしました。



4月
佐野田沼〜岩舟間が開通
北関東自動車道全線開通へ

4月17日、北関東自動車道の佐野田沼ICから岩舟JCTまでの延長約5.3kmが開通しました。北関東自動車道は、群馬県高崎市から茨城県ひたちなか市に至る約150kmの高速道路です。今回の開通により、全体の約9割が開通し、残る太田桐生ICから佐野田沼IC間（約18.6km）も、11年3月19日に開通し、念願の全線開通となります。全線開通により、北関東3県間の移動時間が大幅に短縮されるほか、常磐道、磐越道、関越道などを介して、北関東3県と福島県・新潟県がループ状に結ばれ、高速道路ネットワークの更なる強化が図られます。



4月
鍛錬、努力の成果を披露
ねりんピックとちぎ

県内在住の60歳以上の人々を参加対象とするスポーツ・文化の祭典「ねりんピックとちぎ2010」を、4月から6月にかけて、とちぎ健康の森や宇都宮市内の競技施設などで開催しました。グラウンド・ゴルフなど19種目のスポーツ・文化交流大会と、日本画や洋画など6部門のシルバー作品展に、多くの人々が参加し、日頃の鍛錬、努力の成果を披露しました。また同大会は、ねりんピックの全国大会「全国健康福祉祭」の予選も兼ねており、優秀な成績を収めた選手が、全国大会（石川県）で本県代表として大活躍しました。



5月
中小企業が技術力アピール
大手自動車会社で展示商談会

県と「とちぎ自動車産業振興協議会」は、県内自動車関連企業の販路拡大を目的として、5月19日に栃本田技術研究所において「栃木・茨城合同技術展示商談会 in IONDA」を開催しました。自動車メーカーで開催する初めての展示商談会であり、県内企業50社、1000人を超える来場者に対して新技術や新工法などの自社の強みをアピールしました。また、12月9日には日産自動車栃木工場で同様の展示商談会を開催しました。県は、今後とも県外メーカーなどでの展示商談会を実施し、県内企業の販路開拓を支援していくこととしています。



6月
「誕生会」など楽しい催し
県民の日記念イベント

「県民の日」を記念したイベントが6月15日、県庁舎を会場に行われました。県民の日は、宇都宮県と栃木県の2つの県が合併して、ほぼ今の形の栃木県となった明治6年6月15日を記念して制定されたものです。当日は、記念式典のほか、県民の日マスコットキャラクター「ルリちゃん」の誕生会など楽しい催しが開催され、幼稚園児をはじめ、多くの来場者でにぎわいました。



7月
広げよう ふれあいの輪
ふれあい活動高校生のつどい

高校生の豊かな人間性を育むことを目的とする「ふれあい活動高校生をつどい」が7月22日に県教育会館などで開催されました。当日は5校の生徒による「ふれあいと交流」に関する体験発表、フランス・ヴォークリューズ県派遣報告、3つの分科会でのシンポジウムなどが行われました。このうち「高校生活」をテーマにしたシンポジウムでは、現代におけるコミュニケーションの在り方について生徒相互の活発な意見交換が行われました。また、この事業の一環で、日ごろから課題意識を持っているテーマを中心に、高校生と知事との意見交換も行われました。



7月
自殺を題材に演劇を上演
自殺対策普及啓発事業

自殺対策普及啓発事業として、劇団ワンツークスによる演劇「誰も見たことのない場所」を、7月31日にとちぎ男女共同参画センターパルティで上演しました。この演劇は、自殺に関わった人たちを取材し、実際に語られた言葉を、俳優が舞台から観客に語りかけるように演じる「ドキュメンタリーシアター」という手法により演じられました。観覧いただいた一人ひとりが、自殺を身近な問題として受け止め、考えるきっかけとなるイベントになりました。





8月
子ども育成憲章を制定
県庁本館に表示板を設置

県は、子どもたちを心身ともに健全に育成していく上での基本理念や、親や地域のおとな一人ひとりが実行していくための行動指針として「とちぎの子ども育成憲章」を2月9日に制定しました。8月6日には、県庁本館1階にある「県政展示コーナー」に憲章の表示板が設置され、除幕式が行われました。福田知事が「この憲章には、皆さんを育む大人の決意と愛情が込められています」とあいさつしたあと、県庁見学に訪れていた小学生と一緒に除幕を行いました。



8月
防災関係機関が連携
県・宇都宮市総合防災訓練

8月29日、宇都宮市農林公園ろまんちっく村「にぎわい広場」で、県と宇都宮市との共催による総合防災訓練を実施しました。訓練は、宇都宮市付近で震度6強の大地震が発生したという想定のもと行いました。この日は、地元消防団や自主防災会のほか、消防本部、自衛隊、警察、ライフライン機関などの防災関係機関が参加。消火訓練、避難訓練、救助訓練、ライフライン復旧訓練などさまざまな訓練を実施し、災害時の行動が確認されました。



8月
旬のとちぎを「堪能下さい」
「とちぎの旬彩店」を登録開始

地域の特色ある農産物や安全・安心な農産物など、こだわりの「とちぎブランド農産物」の魅力を伝えるため、首都圏で旬の県産農産物を食材として使い、心を込めて提供するお店を「とちぎの旬彩店」として登録を始めました。真岡市出身の飯塚芳夫さんが料理長を務める「響 銀座二丁目店」が旬彩店第1号として8月1日に認定され、これまでに34店舗のほか、ファミリーレストラン関係で339店舗が登録されています。





8月 東京で「とちぎ」をPR スカイツリータウンに出店合意

8月30日、知事と市町村長が出席する政策懇談会で、県産品の展示販売や観光をはじめとする地域情報の発信などを行うアンテナショップの設置について協議されました。その結果、県と市町村との共同事業として、「とちぎ」の魅力や丸ごと伝える店舗づくりなどをコンセプトに、東京スカイツリータウン内に新店を出店することなどが、基本方針が合意されました。今後は、県、市町村、運営事業者や関係団体などを交えた運営検討会議で、商品の選定やイベントの実施内容など店舗運営全般について協議を進め、2012年春の開業に向け、準備を進めていきます。

9月 県民生活から暴力団排除 「暴力団排除条例」を制定

暴力団排除を目的とした県内初の「栃木県暴力団排除条例」が、9月県議会で制定されました。条例の主な内容は、学校などの近くで、暴力団事務所を新たに開設・運営することを禁止することとしたほか、事業者が暴力団員等に対し、暴力団の威力を利用する目的で金品などの供与を禁止するなど、県民生活や事業活動から暴力団を排除するための項目が盛り込まれています。本条例は、11年4月1日に施行となります。



9月 環境に優しい交通で通勤 「エコ通勤」統一行動

9月1日、職員が通勤におけるマイカーの使用を控え、徒歩や自転車、電車・バスなど環境に優しい交通機関で通勤する「エコ通勤」を、県と市町が協力しながら「統一行動」として実施しました。本県では、職員自らの意識や行動を「人にも環境にもやさしい」方向へと促すため、昨年度から「エコ通勤プロジェクト」に取り組んでいます。昨年度の取組においてCO₂削減に大きな効果が確認できたことから、県全体の取組に発展させていくための第1ステップとして、「エコ通勤統一行動」に取り組み、県内27市町職員約1万8000人が参加しました。12月にも統一行動を実施し市町における取組の定着を図り「エコ通勤の推進」に努めています。



1日、15日バス・鉄道利用デー



9月 白居選手が力強く宣誓 県障害者スポーツ大会

第6回栃木県障害者スポーツ大会が9月26日、県総合運動公園などで開催されました。県内最大の障害者のスポーツ大会で、県内各地から約2000人を超える選手が、陸上、卓球、水泳、アーチェリーなど9競技に出場しました。開会式で、日光市の白居和宏選手が「周りの人に感謝しながら、精いっぱい競技します」と力強く選手宣誓し、優勝や自己記録の更新を目指す選手が真剣な表情で競技を行いました。大会を運営するため、約3000人の競技関係者やボランティアなどの協力をいただきましたが、多くの県民に大きな勇気と感動を与えてくれた大会になりました。





9月
地域からの取組を推進
生物多様性とちぎ戦略を策定

近年、開発や乱獲、里地里山の荒廃、外来種による生態系の攪乱など、本県の豊かな生物多様性に及ぼす影響が顕在化しています。このため、生物多様性に関する基本理念や目標を示した「生物多様性とちぎ戦略」を9月に策定しました。この戦略では、県民をはじめとするさまざまな主体と協働して、地域からの取組の更なる推進を図ることが重要であるとの考え方に立ち、本県の地域特性である「里地里山」や「河川・湿地」の保全再生、生物多様性のために自ら行動する人づくりの推進などを、今後5年間で取り組む5つの重点プロジェクトとして掲げています。

9月
公衆衛生の発展向上へ
栃木県公衆衛生大会



県と県公衆衛生協会は9月8日、県総合文化センターで「第50回栃木県公衆衛生大会」を開催しました。当日は、公衆衛生関係者や県民など約300人が参加し、大会長の福田知事と協会長である県医師会の太田会長から保健衛生事業で功績のあった人たちに表彰状の授与が行われました。また、第50回大会を記念して、副大会長である県歯科医師会の柴田会長による大会宣言や、劇団「ぜんとようぶ」による特別公演が行われ、公衆衛生関係者の資質の向上を図るとともに、県民の公衆衛生に対する関心を高めました。

9月
生涯スポーツ社会の実現へ
県民レクリエーションフェスティバル

9月18日、県総合教育センターで、栃木県民スポーツ・レクリエーションフェスティバル総合開会式が開催され、各市町、各競技団体、県民など220人が参加しました。当日は、(株)リンクスポーツエンターテインメント代表取締役社長の山谷拓志氏が「ブレックス流モチベーションマネジメント」という演題で、記念講演を行いました。また、同事業の一環として、10月17日と24日に県民スポーツ大会、11月3日に県民レクリエーションフェスティバルが行われました。





10月
先進的な経営者を育成
とちぎ農業ビジネススクール



県は、本県農業をリードする先進的な農業経営者を育成するため、10月に「とちぎ農業ビジネススクール」を県農業大学校に開校しました。全国で活躍する経営実践者や経営コンサルタント、中小企業診断士などを講師に迎え、経営者としての意識改革、販売戦略や商品開発、財務管理などの経営スキルに関する講義、演習を通して受講者自らが実践に向けた自己の経営改革プランを作成しました。今後、研修で培われた知識や多くの講師や関係者とのネットワークを活かして、受講者20人の活躍が期待されます。

10月
人権尊重の大切さを実感
ヒューマンフェスタとちぎ

「あしたへつなごう やさしいところ みんなの笑顔」をテーマに10月2日と3日、「ヒューマンフェスタとちぎ2010」がマロニエプラザ（宇都宮市）で開催されました。この催しは、県民一人ひとりに人権問題についてより身近なものとして考えてもらうために行っているものです。今回は、俳優の藤岡弘、さんや元大関の小錦八十吉さんのトークショーなどが行われ、約1万3000人ももの来場者で賑わいました。また、各種人権啓発ブースやさまざまな参加体験型のブースでは、多くの参加者が人権尊重の大切さを実感していました。



10月
10月16日は元気な森づくりの日
県民税事業により木製ベンチを配布



10月16日の「元気な森づくりの日」を記念して、県内各地で植林や間伐などのさまざまな森づくり体験活動が行われました。また、県では「とちぎの元気な森づくり県民税」による奥山林整備事業で、長い間手入れのされていないスギやヒノキなどの人工林の間伐を実施しています。今年度からは、その間伐材の有効活用を図ることと併せ、実際に触れて、使って「木の良さ」への理解を深めていただくため、多くの県民の皆さんが利用する店舗や病院などに、スギの間伐材で製作した「木製ベンチ」を配布しています。



10月
食育の大切さを確認
とちぎ食育推進大会



県と県教育委員会、とちぎ食育推進連絡会の主催による「とちぎ食育推進大会2010」を10月8日、県庁研修館講堂で開催しました。食育に関する各種コンクールの表彰のあと、フードコンサルタントのサカイ優佳子さんが「感じる食育 楽しい食育」と題して、「日々の食を楽しんで食に興味や関心を持つことが食育の第一歩で、五感で食と向き合うことが大切」との講演を行いました。大会には、関係機関・団体などから1700人が参加し、あらためて食育について認識を共有、取組の大切さを確認しました。

10月
11万人が実りの秋を満喫
「食と農」ふれあいフェア



10月23日と24日、「とちぎ「食と農」ふれあいフェア2010」が、県庁をメイン会場として盛大に開催されました。「美味しい食とのめぐりあい」とちぎ食の回廊」をテーマに「食の街道」の紹介や各街道の農産物・特産品、新商品などの試食・展示・販売、県内各地の農産物直売所や農村レストランが大集合し、新鮮な野菜の販売、自慢のそばの提供のほか、餅つきや精米体験などが行われました。また本館1階の特設ステージでは「食」をテーマに熊谷喜八さんらによるトークショー、とちぎの食材を活かした地元シェフの料理ショーや試食会などが行われ、11万人が実りの秋を楽しみました。

11月
中国との経済交流を促進
定期協議交流団が訪中

11月7日～11日、麻生副知事を団長とする定期協議交流団が中国の浙江省と上海市を訪問しました。訪問中は、本県の友好交流先である浙江省の副省長と経済を含めた幅広い分野での交流について意見交換したほか、「栃木友人会」設立などにより本県ゆかりの人たちとのネットワークを築きました。また、現地の旅行社や国際食品見本市で、本県の観光や加工食品のPRを行いました。こうした成果を踏まえ、今後は、観光誘客や県産品の販路拡大など中国との経済交流を進めていきます。





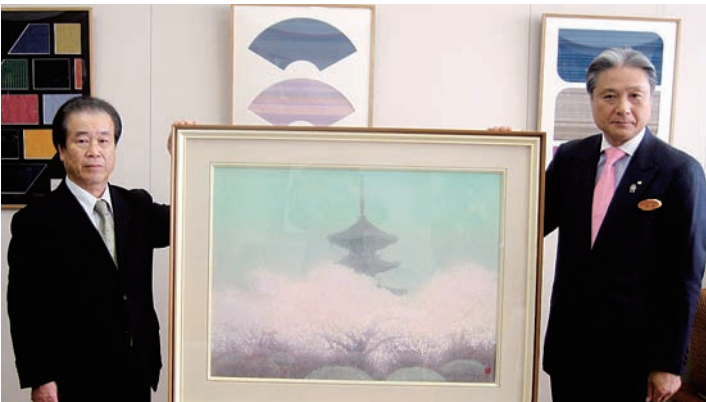
11月 STOP! 児童虐待
児童虐待防止特別事業



「児童虐待防止法」の施行10年を節目として、民間団体との協働により「子ども虐待をなくそう!」県民のつどい」が11月14日にオリオンスクエア（宇都宮市）で開催されました。式典では、虐待被害にあった子どもたちへの黙祷や虐待防止に向けた宣言が行われました。また、歌などの催しやパネルディスカッションが行われ、エンディングでは「コスベルクワイヤーO.M.I.」と宇都宮市立宝木中学校合唱団による合唱のあと参加者全員が子ども虐待の根絶を願い、手作りキャンドルによる追悼を行いました。

11月 文化功労者に荒井孝さん
日本画「御室の桜」を寄贈

県は、本県文化の振興に著しく貢献された人を、栃木県文化功労者として表彰しています。今年度の県文化功労者には日本画家の荒井孝さんが選ばれました。1949年度の第1回表彰以来の受賞者は、これで合計133人（学術36人、芸術68人、そのほか29人）になりました。荒井さんは受賞を記念し、日本画「御室の桜」を県に寄贈されました。



11月 命の大切さを肌で実感
生命のメッセージ展



「生命（いのち）のメッセージ展」とちぎ 県議会議事堂」が11月26日から28日まで、県議会議事堂と県庁を会場に行われました。これは、犯罪被害者等の現状や被害者支援の重要性について理解を深めていただくとうと公益社団法人被害者支援センターとちぎ、県、県警察本部、いのちのミュージアムが主催しました。被害者の等身大オブジェの展示、関係機関の紹介、ミニコンサート、被害者遺族による「命の授業」や映画「セロからの風」の上映などが行われ、多くの来場者が命の大切さを肌で感じていました。

12月
広がる連携・高まる期待
NEXCO東日本と提携協定

県は12月15日、NEXCO東日本（東日本高速道路株式会社）と包括的提携協定を締結しました。この協定は、本県とNEXCO東日本とが相互に連携して、双方の資源を有効に活用し、観光の振興、県産品の消費拡大、緊急対応時における支援強化などを通じて地域社会の発展を図るとともに、高速道路利用者の利便の向上、利用の拡大を図ることを目的に締結したものです。また、11年3月19日には、県民の悲願でもある、北関東自動車道が全線開通することになりました。



12月
丹精こめた製品を販売
とちぎナイスハートバザール

障害者週間（12月3日～9日）中の12月7日に、「とちぎナイスハートバザールinけんちょう」を開催しました。県内各地の障害者就労支援事業所が参加し、障害のある人たちが丹精こめてつくったパンやお菓子、手芸品など、バラエティに富んだ製品を販売しました。併せて、障害者週間のポスター展、クッキーの品質向上に取り組む事業所による「クッキー味くらべ」、県産もち米を使った「杵つき餅」の配布などの催しを行いました。たくさんの来場者でにぎわいました。



12月
スマートICさらに便利に
2か所がフルインター化

12月18日、上河内、那須高原スマートIC（インターチェンジ）の上下線フルインター化が図られました。この2か所のスマートICは本県と宇都宮市、那須町がアクセス道路を整備し、NEXCO東日本がETC料金所などを整備したものです。今回のフルインター化により、東京方面に加え福島方面への出入りも可能になるほか、利用できる車種も大型車まで拡大されることから、利便性の向上やICの分散化による行楽シーズンの渋滞緩和などの効果が期待されます。



12月
百年後も誇れる田園風景
全市町102地域を認定

美しく豊かな田園風景の百年後への継承と活力に満ちたふるさと「とちぎ」づくりのため「とちぎのふるさと田園風景百選」を実施しました。自然と一体となった農業生産や農村の生活、祭りや伝統行事の風景など750点（353地域）の応募があり、多くの県民の皆さんのご参加をいただきました。11年2月には記念シンポジウムを開催し、全市町102地域を認定しました。



10月

- 9 第23回全国健康福祉祭いしかわ大会(本県選手団を石川県に派遣)(12日まで)
- 11 生物多様性シンポジウム
- 12 第1回とちぎのふるさと田園風景百選選定委員会
- 13 とちぎ農業ビジネススクール開校
- 14 第23回きのご料理コンクール
- 16 元気な森づくりの日
- 16 第23回全国スポーツ・レクリエーション祭(本県選手団を富山県に派遣)(19日まで)
- 16 下水道フェスティバル(県央浄化センター)
- 16 栃木県技能展(17日まで)
- 16 くすりと健康の週間イベント「お薬相談会」(17日まで)
- 16 全国障害者スポーツ大会出場選手結団式
- 17 首都圏自然歩道新規路線開通記念イベント
- 17 家族で食育の日(10月第3日曜日)
- 18 「二宮遊水地」(真岡市)で菜の花の種まき(地域の魅力アップと維持管理費用の節減を目的にボランティアによる実施)
- 19 優良木材展示会(鹿沼市など29日まで)
- 21 下水道フェスティバル(巴波川浄化センター)
- 22 県営土地改良事業の換地業務に係る感謝状贈呈式
- 23 「森づくりに関する協定」に基づく植樹式(ソニーケミカル&インフォメーションデバイス(株))
- 23 秋山川浄化センター施設公開(秋山川浄化センター)
- 23 日光中宮祠地区渋滞対策社会実験の実施(24日まで)
- 23 とちぎ住宅フェア2010(24日まで)
- 23 栃木県伝統工芸品展2010～見て!触れて!“とちぎの匠”(24日まで)
- 23 とちぎ“食と農”ふれあいフェア2010～美味しい食とのめぐりあい「とちぎ食の回廊」～
- 26 「やすらぎの栃木路」名古屋・大阪キャンペーン
- 29 「森づくりに関する協定」締結式(株)栃木県トラック協会)
- 30 祭囃子伝承フォーラム2010

11月

- 1 第5期「とちぎハートフルトレ」認証
- 2 とちぎ材ビジネスマッチング交流会(東京)
- 2 栃木県障害者文化祭カルフルとちぎ2010こころのつどい(3日まで)
- 3 エコドライブキャンペーン(ほかに4、6日)
- 3 「スポレク“エコとちぎ”2011」1年前イベント
- 5 第41回全国ばら切花研究大会栃木大会(6日まで)
- 6 小田代原 秋の探鳥会とシカ防除ネット巻き
- 6 下水道フェスティバル(大岩藤浄化センター)
- 6 やすらぎの栃木路フェア in 茨城空港
- 6 産技大祭・とちぎものづくり技能競技大会
- 7 定期協議交流団訪中(11日まで)
- 7 がん患者さんの支援の輪公開講座
- 8 栃木県文化功労者表彰式
- 10 第22回栃木県マロニエ建築・景観賞表彰式
- 10 国際見本市「FHC CHINA」(中国上海市)(12日まで)
- 10 第7回とちぎ食品安全フォーラム
- 12 栃木県青少年健全育成功労者等表彰式
- 12 とちぎ企業誘致セミナー(東京都)

11月

- 13 県道小山環状線(新聞中橋)が開通
- 13 フェスタ in パルティ
- 14 「こどもの虐待をなくそう!」県民のつどい
- 16 「結城紬」ユネスコ無形文化遺産代表一覧記載決定
- 16 栃木県農業担い手躍進大会
- 17 ジャパンホームショー・全国木材展示会(東京都19日まで)
- 18 栃木県職業能力開発促進大会
- 18 「世界糖尿病デー」記念ミニイベント
- 19 「森づくりに関する協定」に基づく植樹式(栃木県ホンダ会)
- 19 フードバレーとちぎ推進協議会設立総会
- 19 第2回とちぎのふるさと田園風景百選選定委員会
- 21 東武ファンフェスタ出展(埼玉県久喜市)
- 22 栃木県有機農業推進講演会
- 24 第1回やすらぎの栃木路栃木県の物産と観光展(神奈川県藤沢市)
- 25 中小企業支援施策のワンストップ・サービスデー
- 25 よい歯のコンクール表彰式
- 26 「生命(いのち)のメッセージ展 in とちぎ 県議会議事堂」(28日まで)
- 27 「森づくりに関する協定」に基づく植樹式(株)栃木県トラック協会)
- 27 「ぐんま・とちぎ・いばらき観光物産展」 in グリーンドーム前橋(28日まで)
- 27 第34回農大祭(28日まで)
- 27 「とちぎ de ピンクリボン」
- 28 心豊かな青少年を育む県民の集い in 下野市～「とちぎ心のルネッサンス」運動推進県民大会～

12月

- 1 「エコ通勤プロジェクトとちぎ」県市町職員によるエコ通勤統一行動(第2回)
- 1 道路照明消灯試験「エコ消灯パート2」を実施(2月28日まで)
- 3 「やすらぎの栃木路」茨城キャンペーン
- 4 「地球温暖化対策の推進に関する協定」締結式(栃木県リサイクル協同組合連合会)
- 4 マロニエ ECO 事業所表彰
- 4 とちぎ環境県民大会
- 6 EV・PHV タウン(第二期)選定(=次世代エコ自動車普及促進)
- 7 「栃木県心の輪を広げる障害者理解促進事業」入選者表彰式
- 7 とちぎナイスハートバザール in けんちょう
- 8 栃木県きのこさわび展示品評会(9日まで)
- 8 県道大田原氏家線(佐久山工区)の供用開始
- 9 技術交流展示会 in 日産自動車栃木工場
- 11 栃木県がん検診受診率向上プロジェクト「がん啓発セミナー」
- 12 国道293号(鹿子畑バイパス)供用開始
- 15 NEXCO 東日本と包括的提携協定を締結
- 17 栃木県森林・林業コンクール表彰式
- 17 第28回栃木県肉用牛総合共進会(種牛の部)
- 18 上河内スマートIC、那須高原スマートICのフル化供用開始
- 20 県芸術祭表彰式

県政のあゆみ 2010

5月	1	高齢者交通安全県民総ぐるみ運動	8月	6	とちぎ企業立地セミナー（東京都）
	8	第24回栃木県看護大会		6	米国インディアナ州ステート・フェア「日本展」(9日まで)
	15	第48回栃木県植樹祭（塩谷町）		8	栃木県在宅緩和ケア公開講座
	15	第59回利根川水系連合水防演習		17	栃木県食品商談会 in 香港 2010
	16	香港テレビ招請事業（23日まで）		18	「やすらぎの栃木路」千葉キャンペーン
	17	とちぎ地産地消県民運動実行委員会		19	第13回栃木・福島の物産展（25日まで）
	17	県と市町村による道路アンダー部の排水施設などの一斉点検（28日まで）		20	映画と講演のつどい
	17	第2回とちぎのふるさと田園風景百選実行委員会		21	林業センター公開デー
	18	とちぎの元気な森づくり県民会議総会		22	フレッシュファーマーズフェスティバル 2010
	19	栃木・茨城合同技術展示商談会 in HONDA		29	栃木県・宇都宮市総合防災訓練
	22	国際生物多様性の日記念事業		30	政策懇談会
24	市町村長会議	9月	1	「エコ通勤プロジェクトとちぎ」県市町職員によるエコ通勤統一行動（第1回）	
26	消費者月間記念イベント「消費者のつどい」		2	栃木県民福祉のつどい	
28	旅フェア 2010 出展（幕張メッセ）(30日まで)		3	「森づくりに関する協定」締結式(ソニーケミカル&インフォメーションデバイス㈱、栃木県ホンダ会)	
30	とちぎの環境美化県民運動 県民統一行動		4	第7回なんびょうサポートとちぎのつどい	
31	不法投棄パトロール出発式		7	県道上久我都賀栃木線（西沢バイパス）が開通	
6月	2		道路アンダー部の路面冠水を想定した事故防止訓練	8	とちぎナイスハートバザール in けんちょう
	2		第3回北関東三県(栃木・茨城・群馬)の物産展(7日まで)	8	第50回栃木県公衆衛生大会・第48回栃木県公衆衛生学会・平成22年度救急医療週間記念大会
	10		栃木県がん検診受診促進プロジェクトによる「チャリティーコンサート 2010 in 栃木」	9	「やすらぎの栃木路」名古屋キャンペーン(11日まで)
	12		とちぎ物産観光フェア in 大黒パーキングエリア	10	第23回全国健康福祉祭いしかわ大会栃木県選手団結団式
	15		「スポレク“エコとちぎ”2011」500日前イベント	13	栃木県地方税同納税相談会(東京都などで17日まで)
	15		県民の日記念式典・記念イベント	13	秋の交通安全行事「交通安全の火」分火式
	15	とちぎナイスハートバザール in けんちょう	13	インターネットショップビジネスセミナー	
	16	求人企業合同説明会	14	「生物多様性ととちぎ戦略」策定	
	18	とちぎ産業集積懇話会	17	夏秋いちご新品種「なつおとめ」お披露目	
	25	「やすらぎの栃木路」大宮キャンペーン	18	少年の主張発表県大会	
	26	農業試験場公開デー	18	県民スポーツ・レクリエーションフェスティバル総合開会式	
27	男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」	18	「やすらぎの栃木路」フェア in インディ 2010(19日まで)		
30	とちぎ食の回廊 in 都庁(7月6日まで)	19	とちぎ木材フェスティバル「もくもくまつり 2010」		
7月	9	交通安全子供自転車大会	19	水産試験場公開講座	
	9	「やすらぎの栃木路」福島キャンペーン	21	秋の交通安全県民総ぐるみ運動（30日まで）	
	12	ラムサール条約登録湿地「奥日光の湿原」保全のための寄付(アサヒビール)に対する感謝状贈呈式	21	フードバレーとちぎ推進協議会発起人会（フードバレーとちぎサミット）	
	12	県芸術祭（11月21日まで）	23	2010 とちぎ動物愛護フェスティバル	
	15	栃木県地方税滞納整理推進機構本部会議	25	国民体育大会(本県選手団を千葉県に派遣)(10月5日まで)	
	16	とちぎ企業立地推進戦略会議設立	25	北那須浄化センターのつどい(北那須浄化センター)	
	20	とちぎ“食”の産業フォーラム	25	「やすらぎの栃木路」新宿西口フェア（28日まで）	
	22	ふれあい活動高校生のつどい	26	栃木県障害者スポーツ大会	
	26	献血功労者表彰式	10月	1	旅券事務の県内全市町への権限移譲
	29	仕事と家庭の両立支援セミナー		1	とちぎ食育推進月間（31日まで）
	30	愛鳥週間用ポスター原画コンクール表彰式		2	ヒューマンフェスタとちぎ 2010（3日まで）
30	第7回北関東磐越五県知事会議	2		とちぎインターナショナルフェスティバル 2010	
31	自殺対策劇団公演	5		中小企業支援施策のワンストップ・サービスデー	
8月	1	“とちぎ発”ストップ温暖化アクションPRイベント「涼感まつり」		8	とちぎ食育推進大会
	1	栃木県傷病者搬送・受入実施基準運用開始		9	環境立県元年！エコ・もりフェア 2010(10日まで)
	5	第32回「全日本中学生水の作文コンクール」栃木県審査会表彰式		9	下水道処理施設の公開デー（思川浄化センター）
	6	「とちぎの子ども育成憲章」除幕式		9	とちぎグリーンフェスタ 2010（17日まで）
				9	那須高原地域パーク&バスライド社会実験の実施(10日まで)

2010 県政のあゆみ

1月

- 4 栃木県地域生活定着支援センター開設
- 8 栃木県商談会 in 香港 2010
- 8 栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式
- 8 栃木県在宅緩和ケア公開講座
- 15 栃木県民防災の集い
- 20 ドクターヘリ運航開始
- 21 地方分権・地方自治フォーラム
- 22 第59回関東東海花の展覧会(24日まで)
- 23 「やすらぎの栃木路」フェア in 六本木ヒルズ
- 25 「栃木県におけるレジ袋削減に関する協定」締結式(第2回)
- 25 栃木県農業青年研究大会
- 27 国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会(本県選手団を北海道に派遣)(31日まで)
- 31 第5回とちぎ食の回廊モニターツアー～とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道&足利佐野めんめん街道～

2月

- 1 「レジ袋無料配布中止」の取組を開始
- 1 栃木県マイクロ水力発電促進セミナー
- 2 第3回栃木県元気な農業コンクール表彰式
- 2 第2回栃木県農産物知的財産功績者表彰式
- 5 栃木県文化振興大会
- 5 とちぎ花ファスタ 2010 in ましこ(7日まで)
- 7 栃の葉国体記念「第27回健康マラソン大会」
- 7 県道雀宮真岡線(宮岡橋)が開通
- 7 NPO 見本市&栃木ボランティア・市民活動フォーラム 2010
- 8 とちぎ産業活力フォーラム 2010
- 9 みどりと環境のコンクール表彰式
- 9 「とちぎの子ども育成憲章」制定
- 10 国道121号板橋バイパス(森友・土沢工区)が部分開通
- 12 生命保険会社アフラックと「栃木県がん検診受診促進プロジェクト」の協定締結
- 19 栃木県シルバー大学校創立30周年記念式典
- 23 「ミルクの国とちぎ」講演会
- 24 県道宇都宮茂木線(芳賀・市貝バイパス)が部分開通
- 25 国民体育大会冬季大会スキー競技会(本県選手団を北海道に派遣)(28日まで)
- 27 県道栃木二宮線(大道泉橋)が開通
- 28 第6回とちぎ食の回廊モニターツアー～いい芳賀いちご夢街道～

3月

- 1 マスコミなどを対象とした「とちぎ食回廊コンベンション」開催
- 2 平成21年度「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」表彰状伝達式
- 2 FOOD EX JAPAN 2010(第35回国際食品・飲料展＝幕張メッセ)(5日まで)
- 3 「環境サテライト(とちぎの青空)」を開設(県庁15階西側)
- 5 県南高等看護専門学院卒業式
- 7 栃木県臨床研修病院合同セミナー
- 8 県立衛生福祉大学校卒業式
- 9 百年後にも誇れる田園風景づくり懇談会
- 15 自転車通行環境の整備に向けた社会実験パート2を実施(4月16日まで)
- 16 とちぎ環境産業振興協議会設立総会
- 18 技術交流展示会
- 18 栃木県農業大学校卒業式
- 20 「森づくりに関する協定」に基づく植樹式(社)栃木県トラック協会)
- 21 北関東自動車道開通イベント(壬生PA)
- 23 足利佐野都市計画道路3・4・2号黒袴迫間線(若松アンダー)が開通
- 23 県庁で“みつばち”を飼おう!プロジェクト(6月25日まで)
- 25 全国ため池百選に大沼(小山市)、唐桶溜(芳賀町)が選定
- 26 栃木県地域福祉支援計画(第2期)策定
- 31 県南高等看護専門学院看護学科専科閉科

4月

- 1 宇都宮東高等学校の男女共学化(附属中学校生徒の高校進学に伴う共学化)
- 1 富屋特別支援学校鹿沼分校開校・栃木特別支援学校肢体不自由教育棟開設
- 1 「エコ通勤プロジェクトとちぎ」(県職員によるエコ通勤の継続実施と時差出勤)を本格実施
- 1 消費生活センターを本庁組織と一体化
- 5 マロニエメイツ任命式
- 5 春の交通安全県民総ぐるみ運動(6日～15日)オープニングセレモニー
- 8 栃木県農業大学校入学式
- 8 県南高等看護専門学院入学式
- 9 県立衛生福祉大学校入学式
- 12 いちご研究所研究棟竣工式
- 16 春季苗木配布会
- 17 リンク栃木ブレックスが日本一
- 17 北関東自動車道(佐野田沼IC～岩舟JCT間)が開通
- 22 札幌で栃木の物産展(28日まで)
- 25 ねりんピックとちぎ 2010(6月13日まで)
- 28 第24回全国スポーツ・レクリエーション祭栃木県実行委員会設立総会
- 30 高齢者交通安全県民総ぐるみ運動(31日まで)「43万人交通安全誓いのキャンペーン」出陣式